

令和4年度 備中県民局 地域づくり推進賞（局長表彰） 受賞者一覧

| 団体名 | 取組概要及び受賞理由 |
|---|---|
| <p>おおえ きょうぎかい 大江まちづくり協議会 (井原市)</p> | <p>○ニンニクで地域も人も活力アップ 平成 27 年から耕作放棄地対策の一環で収益性の高いニンニク栽培を始め、ガーリックパウダーや黒ニンニクなどの6次産業化にも積極的に取り組み、地域特産品として定着させ、持続可能な地域農業の推進に寄与している。 また、「ガーリックフェスティバル」、「観音マルシェ」、収穫体験会等のイベント開催や、空き家を活用した「ワンコインカフェ」などを通じて、地域内外の多様な世代間の交流を創出し、地域活性化に貢献している。</p> |
| <p>たかはしがわようすいとちかいりょうく 高梁川用水土地改良区 (総社市)</p> | <p>○小阪部川ダムの管理を通じた地域貢献活動 昭和 32 年以降、長年にわたる小阪部川ダムの適切な管理を通じて農業振興に寄与するとともに、治水協定に基づく「低水位管理」や「事前放流」等の洪水調整機能強化に向けた取組により、ダム下流域の洪水被害の軽減、下流住民の安全・安心の確保につなげている。 また、ダム周辺の保全活動、出前講座による普及啓発活動等により、ダムへの理解が深まり、良好な景観の維持や農業用水・農業水利施設を守る意識の醸成が図られている。</p> |
| <p>いっばんしゃだんほうじん 一般社団法人 にいみ木のおもちやの会 (新見市)</p> | <p>○木育（木材利用に関する教育活動）の推進 平成 29 年度以降、イベントやワークショップの開催、新見産材で製作したおもちゃや遊具を活用し、木質製品との触れ合いを通じて森林への親しみや木の文化への理解を深め、木材の良さや利用の意義を学んでもらう「木育」の取組を推進し、子どもの豊かな心を育み、木材利用の促進や森林保全の推進に貢献している。 また、保育士等を目指す地元大学の学生や高校生が、幼児期の子ども相手に「木育」を提供する経験を積むなど、徐々に「木育」を担う人材が育っており、地域の中でつながりを持った活動へと発展している。</p> |
| <p>いっばんしゃだんほうじんもこあ 一般社団法人 moko' a (浅口市)</p> | <p>○地域と多様な主体をつないで地域課題を解決 映画「とんび」で利用され話題となった、空き店舗を改修したレンタルスペース「大谷みかげスクエア」（浅口市金光町大谷地区）の開設や、通院、買い物等のための住民主導の移動サービス「みどりん号」（鴨方町みどりヶ丘地区）の立上げ支援などを行った。 平成 29 年の法人設立以来、多様な主体、分野、地域間を有機的につなぎ、地域に存在する資源を活かした新たな魅力の創出や情報発信等を行い、地域特有の課題を解決するコーディネーターとして、住民主体の地域づくりや地域活性化に寄与している。</p> |
| <p>のうじくみあいほうじん 農事組合法人 やがみまいどえいのうくみあい 矢神毎戸営農組合 (矢掛町)</p> | <p>○加工・業務用野菜の振興による水田農業の展開を通じた地域の活性化 平成 26 年から加工・業務用たまねぎ栽培に取り組み、県内集落営農組織では先進事例となる米と野菜の複合経営を確立した。生産面積を拡大し、新たにキャベツや大豆栽培に取り組みなど、集落営農組織の優良経営モデルとして地域農業を牽引している。令和 2 年度には、同法人が機械の共同利用や共同出荷体制を主導して、同じたまねぎ栽培に取り組み他の法人と「小田川鬼おん」を結成するなど、広域連携の取組へと発展させた。 また、農業後継者の確保・育成や小学生の食農教育にも積極的に取り組んでおり、地域農業の持続的な発展や地域への愛着心の醸成にも寄与している。</p> |